

付録－SDGs(持続可能な開発目標)

世界の人口は100年で4倍に！

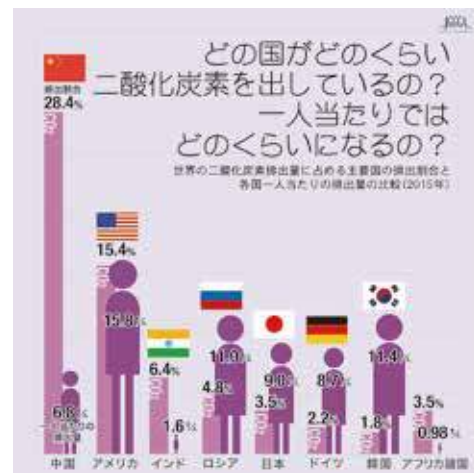
世界の人口は、1950年には25億人でしたが、2011年には70億人を突破し、2050年には98億人になる見込みです。

もしも世界中の人々が豊かになったら？

1人あたりの二酸化炭素排出量を比べると、インドでは日本の5分の1、アフリカでは日本の9分の1にとどまっていますが、これらの国では、今後、経済発展に伴って1人当たりの二酸化炭素排出量も増えると考えられています。



(出典：国連人口基金（UNFPA）東京事務所資料より作成）



(出典：EDMC/エネルギー・経済統計要覧2018年版
全国地球温暖化防止活動推進センター資料より作成)

地球の限界！

私たちは、日常生活や経済活動で食料や資源を消費するとともに、二酸化炭素や廃棄物を排出しています。世界の人口は急速に増加し、人間の活動は地球に大きな影響を及ぼしています。気候変動や生物種の絶滅の速度など、既に限界を超えるレベルに達しているといわれています。そしてこのままでは回復不可能な変化をひきおこしてしまうと考えられています。

持続可能性がキーワード！

かけがえのない地球を守りながら、50年後、100年後もみんなが豊かに暮らすことができる持続可能な社会をめざすためには、どうしたらよいのでしょうか？

「SDGs（持続可能な開発目標）」ってなんだろう？

世界には様々な問題があり、複雑に影響を及ぼしあっています。豊かな恵みを生み出す自然を維持できないと、経済や社会を発展させていくことはできません。そこで、これらの様々な問題を解決し、今だけでなく将来に渡っても持続できるより良い世界をつくるために、2015年9月に開催された「国連 持続可能な開発サミット」において、世界中の国々が2030年に向けた目標について話し合い、17の目標を定めました。この目標が「持続可能な開発目標(SDGs)」です。

SDGsは、経済・社会・環境という3つが互いに良い影響を与えながら同時に良くなっていくことをめざしており、そのためにはさまざまな人々が力を合わせるパートナーシップがとても重要です。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsは、環境や経済、貧困、健康、平等など、世界が直面しているさまざまな問題を扱っています。

持続可能なより良い世界をつくっていくために、国・地域・企業などみんなが力をあわせること、経済・社会・環境の課題を同時に解決していくこと、誰も置き去りにしないことがSDGsの大きな特徴です。

おおさか環境科の各章と関連するSDGsの目標

▶ 1 都市環境保全 →



▶ 2 地球温暖化 →



▶ 3 持続可能なエネルギー利用 →



▶ 4 循環 →



▶ 5 生物多様性 →



目標達成に向けての169のターゲットと、目標が達成できたかの進み具合を確認するための指標があります。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)とSDGs

2025年、大阪市の夢洲で、大阪・関西万博が開催されます。地球環境の悪化や少子高齢化の進展など様々な課題が相互に関わり合い複雑化する中で、そうした課題を解決していく原動力として、新しい技術やイノベーションが期待されています。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。新しい技術やアイデアを体験することで、一人ひとりが、自分の望む生き方を実現でき、SDGsの達成に貢献することを掲げています。みなさんもぜひ、2025年、「未来社会の実験場」を体験してみてください。

ちなみに…

今から約50年前の1970年、大阪でアジア初の万博が開催されました。当時の日本は高度経済成長期とよばれる時代にあり、めざましく経済が発展する一方で、環境破壊や公害問題が生まれるなど、経済成長に伴うひずみが明らかになってきました。(P7～9参照)

そのような中で、バランスのとれた進歩をどう実現するかという課題を「人類の進歩と調和」というテーマで表現し、理想の未来を映し出した大阪万博は、6400万人を超える人々を呼び寄せる一大イベントとなりました。

? 考えてみよう

SDGsは、わたしたちの生活にも深く関わっています。たとえば、「使っていない電気はこまめに消す」など、普段の生活の中で気を付けていることも、実はSDGsの達成に役立っています。ほかにも自分にできることはなにかと考え、たとえ小さなことであっても、広い視野をもって取り組んでみましょう。(P22参照 緩和策と適応策)

① 舞洲工場
ごみ処理のしくみや歴史を学べます。(見学:要予約)
住所 大阪市此花区北港白津1-2-48
電話 06-6463-4153
FAX 06-6463-7101



② 海遊館
太平洋を取り囲む自然環境を再現した世界最大級の水族館です。
住所 大阪市港区海岸通1-1-10
電話 06-6576-5501



③ 天王寺動物園
約180種1,000点の動物を飼育。生息環境や生態が学べます。
住所 大阪市天王寺区茶臼山町1-108
電話 06-6771-8401



④ 自然史博物館
自然についてその成り立ちやしくみを学べます。
住所 大阪市東住吉区長居公園1-23
電話 06-6697-6221
FAX 06-6697-6225



⑤ 自然体験観察園
自然観察や様々な体験学習ができます。
住所 大阪市鶴見区緑地公園2-135 花博記念公園鶴見緑地内
電話 06-6915-5820
FAX 06-6915-5824



⑥ 咲くやこの花館
日本有数の総合植物館。5500種、約15000株の植物を栽培展示しています。
住所 大阪市鶴見区緑地公園2-163 花博記念公園鶴見緑地内
電話 06-6912-0055
FAX 06-6913-8711



⑦ 長居植物園
大阪の昔から現在までの植物を見ることができ、季節の花を楽しめます。
住所 大阪市東住吉区長居公園1-23
電話 06-6696-7117
FAX 06-6696-7405



⑧ 大阪市立大学理学部附属植物園
植物の収集と保存に努め、約3haの園内で6,700種類、34,000本もの植物を育てています。
住所 交野市私市2000
電話 072-891-2059
FAX 072-891-2101



⑨ 淀川資料館
自然・歴史・文化から河川改修事業まで、淀川に関する資料を展示・紹介しています。
住所 枚方市新町2-2-13
電話 072-846-7131



⑩ 大阪科学技術館
5つのテーマで科学技術の世界をわかりやすく展示しています。
住所 大阪市西区靱本町1-8-4
電話 06-6441-0915



⑪ 西淀川・公害と環境資料館
環境教育に係る体験の機会の場として大阪市が認定した施設であり、公害・環境問題や西淀川地域に関する資料の展示や体験学習などを行っています。
住所 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル5F
電話 06-6475-8885



⑫ 水道記念館
水道事業の役割や水の大切さ、浄水場のしくみ等を学べます。
住所 大阪市東淀川区柴島1-3-1
電話 06-6320-2874
FAX 06-6324-3114



⑬ 下水道科学館 ※2018年4月より休館中
下水道の役割、下水処理のしくみなどを学べます。
住所 大阪市此花区高見1-2-53



⑭ 大阪ガス「ガス科学館」※臨時休館
地球環境やエネルギーについて楽しみながら学ぶことができます。(要事前予約)
住所 大阪府高石市高砂3-1
申込先 電話 072-268-0071 (平日の9:30~16:30受付)



⑮ 大阪ガス「ハグミュージアム(hu+gMUSEUM)」
天然ガスの安全性、環境性、将来性を学べるほか、キッチンスタジオも併設しています。(要事前予約)
住所 大阪市西区千代崎3丁目南2番59号
申込先 電話 06-6585-3208 (NWカンパニー 大阪導管部地域共創室)
電話 06-6586-3789(ハグミュージアム)



⑯ 神戸製鋼所「灘浜サイエンススクエア」(無料開放)
科学・技術の面白さや不思議さを遊びながら学ぶ体感型の学習施設です。
住所 神戸市灘区灘浜東町2
電話 078-882-8136



⑰ パナソニック「ピーイーテック」
家電リサイクル法に定められた家電4品目のリサイクル工程を見学、学習できます。(要事前予約)
住所 兵庫県加東市佐保50
申込先 電話 0795-42-8570



⑱ 大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター
大阪府内の生物多様性保全に関する調査研究や、その成果を活用した体験学習などを行っています。
住所 寝屋川市木屋元町10-4
電話 072-833-2770



おおさか環境科
教材編集委員会

【監修】

長谷川 和 弘	大阪教育大学連合教職大学院特任教授 元大阪市小学校教育研究会会長
花 田 真理子	大阪産業大学大学院人間環境学研究所教授
増 田 喬 史	なにわエコ会議事務局長

【委員】

村 上 昌 志	大阪市小学校教育研究会社会部代表(天下茶屋小学校長)
八 木 宣 行	大阪市小学校教育研究会理科部代表(矢田東小学校長)
池 田 知 之	大阪市小学校教育研究会生活・総合部代表(吉野小学校長)
鈴 木 慶 彦	大阪市中学校教育研究会社会部代表(野田中学校長)
渡 邊 哲 朗	大阪市中学校教育研究会理科部代表(茨田中学校長)
梶 元 慶 子	大阪市立環境科学研究センター研究員

教材編集部会
(中学校)

中学校教育研究会理科部

代表 渡 邊 哲 朗	茨田中学校長
河 合 典 彦	新豊崎中学校教諭
名 倉 昌 巳	築港中学校教諭

教育委員会事務局

指導部	初等・中学校教育担当
教育センター	教育振興担当

中学校教育研究会社会部

代表 鈴 木 慶 彦	野田中学校長
末 森 信 志	喜連中学校教諭
山 口 莉 加	董中学校教諭
山 田 悟	此花中学校教諭

環境局

総務部	総務課
環境施策部	環境施策課
事業部	家庭ごみ減量課
環境管理部	環境管理課

発 行

『おおさか環境科』 2012年2月 初版発行
2021年3月 10版発行

デザイン

ワコー・シー・アンド・ピー株式会社

印 刷

有限会社ウェイク

写真、資料提供

石井実、岩谷産業株式会社、学校法人常翔学園、河合典彦、環境省、気象庁、
(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、中尾賢志、中谷憲一、中野道雄、
南海電気鉄道株式会社、西淀川・公害と環境資料館、平野友昭、藤本和典、
淀川水系イタセンバラ研究会

かんきょうがくしゅうしせつあんない
● 環境学習情報サイト ● なにわエコスタイル ● ホームページ ● <https://www.naniwa-ecostyle.net/>

発行者 大阪市環境局総務部企画課
〒545-8550 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシアス13階
TEL06-6630-3213 FAX06-6630-3580
本冊子は、2020年10月までの情報をもとに作成しています。ご不明な点は発行者まで

※本書に掲載されている、写真・イラスト及び記事は、著作権の対象となっています。原則、著作権は断りがない場合すべて大阪市に帰属しており、一部の画像等の著作権は、原著作者が所有していますので、無断での使用や転載を禁じます。私的使用のための複製や、引用など著作権法上認められた場合を除き、本書を複製・転載する際は、必ず事前に上記発行者までご相談ください。